

令和4年8月

町長日誌

夏の暑さも落ち着き、最近朝晩が涼しいと感じられる日々が続いています。全国では「異常気象」の年と言われましたが、本町においては幸いにも大きな災害もなく9月を迎えようとしています。今年は例年より少し早く稲刈りが始まっています。稲の倒伏も少ないようで、平年並みの収穫が望めそうです。あとは大きな台風が来ないでほしいと願うばかりです。

さて、日南町美術館では夏休み特別企画として「つちやあゆみ木のアート展 歯車と音の遊園地」を開催しました。7月8日から8月21日までの期間で、5,168人と多くの皆様にご来場いただきました。様々な形や大きさの木の歯車が重なり合うことによって音を出し、リズムや音階を奏でる作品は、きめ細やかで創造と工夫がありました。美術館内では、小さなお子さんが楽しんでいる声がたくさん聞こえ、美術館の裏庭には好きな絵を描けるコーナーもあり、暑い中汗を流しながら一生懸命絵を描いている姿は、やりたいこと・好きなことをやることは、とても大事で素晴らしいことだと感じました。

新型コロナウイルス感染症（オミクロン株 BA.5）の感染者数はお盆明けをピークに減少傾向ではありますが、その強力な感染力により、これまで本町ではほとんど確認されていなかった感染者も確認されるようになりました。本日から学校は始業式となります。感染拡大が起こらないよう、引き続き感染対策を行ってまいります。

今回の BA.5 の特徴は、空気感染をすることや感染力が強いことだと言われています。感染者は10代以下から50代までの年代が多く、無症状の方が約1割だそうです。感染経路は「家庭」「不明」が多く、ワクチンを3回接種されている方にも感染者が多いという傾向です。10月頃から新たなワクチン接種を行うという報道がありました。現在の BA.5 に対応するワクチンを多くの国民の皆様にご接種していただければと思います。また、治療薬の開発・承認も待たれます。感染予防に努めつつ、一方では経済活動を行いながらの生活が短くとも今年いっぱい続くと考えています。

令和4年8月29日 日南町長 中村英明